

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-208065
(P2002-208065A)

(43) 公開日 平成14年7月26日 (2002.7.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 7 F 17/26		G 0 7 F 17/26	2 H 0 5 4
G 0 3 B 17/53		G 0 3 B 17/53	2 H 1 0 4
	19/02		5 C 0 5 2
H 0 4 N 1/387		H 0 4 N 1/387	5 C 0 5 4
	5/76		E 5 C 0 7 6

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-5083(P2001-5083)

(22) 出願日 平成13年1月12日 (2001.1.12)

(71) 出願人 591237685

株式会社メイクソフトウェア

大阪府大阪市北区天神橋3丁目2番10号

(71) 出願人 500069987

赤松 彰宏

大阪府大阪市北区東天満1丁目10-8-406

(72) 発明者 赤松 彰宏

大阪市城東区今福東1丁目14番18-1015号

(74) 代理人 100109472

弁理士 森本 直之

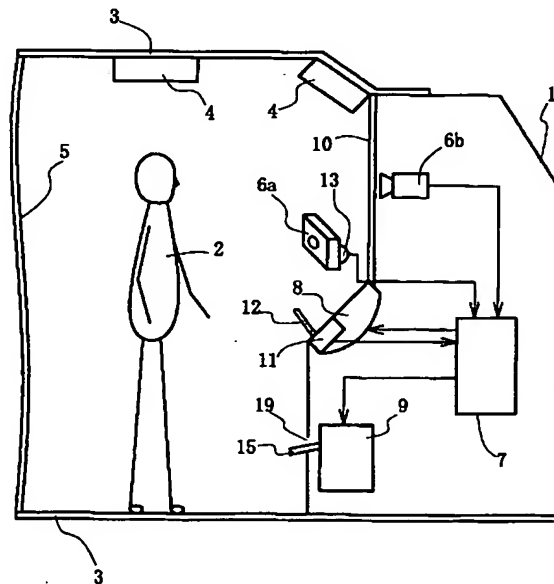
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 写真自販機

(57) 【要約】

【課題】 街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した撮影画像を出力できる写真自販機を提供する。

【解決手段】 被写体2等を撮影してその撮影画像を販売する写真自販機であって、手持ち撮影可能で画像データを記憶しうる第1カメラ6aを着脱自在に接続しうるコネクタ13と、上記コネクタ13を介して入力された第1カメラ6aによる第1撮影画像を出力しうるプリンタ9とを備えたことにより、第1カメラ6aを持ち歩いて撮影を行い、上記第1カメラ6aをコネクタ13に接続し、第1カメラ6aに記憶された画像データをコネクタ13を介して入力してプリンタ9で出力することができ、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した画像を出力できるようになる。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 被写体を撮影してその撮影画像を販売する写真自販機であって、手持ち撮影可能で画像データを記憶する記憶部を有した第1撮影手段を着脱自在に接続しうるコネクタと、上記コネクタを介して入力された第1撮影手段による第1撮影画像を出力しうる画像出力手段とを備えたことを特徴とする写真自販機。

【請求項2】 上記コネクタに接続される第1撮影手段を備えている請求項1記載の写真自販機。

【請求項3】 写真自販機本体に取外し不能に設けられ、使用者を含む被写体を撮影する第2撮影手段を備え、上記画像出力手段が第1撮影手段による第1撮影画像と第2撮影手段による第2撮影画像との少なくともいずれかを出力しうようになっている請求項1または2記載の写真自販機。

【請求項4】 上記第1撮影画像と第2撮影画像との少なくともいずれかを表示する画像表示手段と、上記第1撮影画像と第2撮影画像とを合成する画像合成手段を備え、上記画像出力手段が合成画像を出力しうようになっている請求項3記載の写真自販機。

【請求項5】 上記第1撮影画像と第2撮影画像との少なくともいずれかを表示する画像表示手段と、使用者の操作により少なくともいずれかの撮影画像に合成される第3画像を入力する第3画像入力手段と、上記撮影画像と第3画像を合成する画像合成手段とを備え、上記画像出力手段が合成画像を出力しうようになっている請求項3または4記載の写真自販機。

【請求項6】 上記第1撮影画像と第2撮影画像との合成画像に対して第3画像を合成するようになっている請求項5記載の写真自販機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ゲームセンター等に設置され、硬貨等の投入により使用者等を撮影し、その撮影画像を販売する写真自販機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、ゲームセンター等において、写真を撮影してシールプリント等にする写真自販機が数多く設置されている。このような写真自販機としては、一般に、図8に示すようなものが用いられている。このものは、本体52の内部に、略45°の角度をもってハーフミラー53が設けられている。このハーフミラー53の奥に、使用者54を撮影するカメラ55が設けられ、ハーフミラー53の下方には、上記カメラ55で撮影された画像を表示するモニタ56が設けられている。図において51はコントローラ、57は写真プリント58を印刷するプリンタである。

【0003】上記写真自販機では、ハーフミラー53を透してカメラ55で撮影された画像がモニタ56に表示され、このモニタ56に表示された画像がハーフミラー

53に反射して使用者54によって確認できるようになっている。そして、使用者54は、モニタ56に映った自分の姿を確認しながら所望のポーズをとり、好みのところでコントローラ51を操作して静止画を撮影することが行われる。そして、この静止画は、適当なフレームや前景の画像と合成されて写真プリント58として印刷される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記写真自販機では、カメラ55が写真自販機に内蔵されているため、本体52とバックのカーテンとで形成される狭い撮影用ブース内でしか撮影を行なうことができない。最近では、写真自販機の利用者の増加とともに顧客のニーズも多様化し、従来のように、カーテン等をバックにした顔写真やバストアップ程度の写真を撮影するだけの画一的なものではもう満足されなくなってきており、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した写真を写真プリント58として出力できる写真自販機の開発が強く望まれていた。

【0005】本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した撮影画像を出力できる写真自販機の提供を目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明の写真自販機は、被写体を撮影してその撮影画像を販売する写真自販機であって、手持ち撮影可能で画像データを記憶する記憶部を有した第1撮影手段を着脱自在に接続しうるコネクタと、上記コネクタを介して入力された第1撮影手段による第1撮影画像を出力しうる画像出力手段とを備えたことを要旨とする。

【0007】すなわち、本発明の写真自販機は、手持ち撮影可能で画像データを記憶する記憶部を有した第1撮影手段を着脱自在に接続しうるコネクタと、上記コネクタを介して入力された第1撮影手段による第1撮影画像を出力しうる画像出力手段とを備えている。このため、第1撮影手段を持ち歩いて撮影を行い、上記第1撮影手段をコネクタに接続し、第1撮影手段に記憶された画像データをコネクタを介して入力して画像出力手段で出力することができる。このように、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した画像を出力できるようになる。また、顧客が自分で所有する第1撮影手段をコネクタに接続することにより、個人持ちの第1撮影手段で撮影した画像を出力することもできる。

【0008】本発明の写真自販機において、上記コネクタに接続される第1撮影手段を備えている場合には、あらかじめ備えつけの第1撮影手段を好きな場所に持ち出して撮影を行なえる。

【0009】本発明の写真自販機において、写真自販機本体に取外し不能に設けられ、使用者を含む被写体を撮影する第2撮影手段を備え、上記画像出力手段が第1撮影手段による第1撮影画像と第2撮影手段による第2撮

3

影画像との少なくともいずれかを出力しようになっている場合には、第1撮影手段による第1撮影画像だけでなく、第2撮影手段による第2撮影画像も出力できるようになる。

【0010】本発明の写真自販機において、上記第1撮影画像と第2撮影画像との少なくともいずれかを表示する画像表示手段と、上記第1撮影画像と第2撮影画像とを合成する画像合成手段を備え、上記画像出力手段が合成画像を出力しようになっている場合には、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した第1撮影画像と第2撮影手段で撮影した被写体の第2撮影画像との合成画像を出力できるようになる。

【0011】本発明の写真自販機において、上記第1撮影画像と第2撮影画像との少なくともいずれかを表示する画像表示手段と、使用者の操作により少なくともいずれかの撮影画像に合成される第3画像を入力する第3画像入力手段と、上記撮影画像と第3画像を合成する画像合成手段とを備え、上記画像出力手段が合成画像を出力しようになっている場合には、第1撮影画像や第2撮影画像に、例えば手書き画像やスタンプ画像等の第3画像が合成された合成画像を出力することができるようになる。

【0012】本発明の写真自販機において、上記第1撮影画像と第2撮影画像との合成画像に対して第3画像を合成しようになっている場合には、上記第1撮影画像と第2撮影画像との合成画像に、例えば手書き画像やスタンプ画像等の第3画像が合成された合成画像を出力することができるようになる。

【0013】

【発明の実施の形態】 つぎに、本発明の実施の形態を詳しく説明する。

【0014】図1は、本発明の写真自販機の一実施の形態を示す図である。この写真自販機は、内部および前面に各種の装置が設けられた筐体1と、上記筐体1の上下から被写体2の背後まで達するように突き出された支柱3とを備えている。以下、被写体2に面する側を筐体1の「前面」、その反対側を「背面」という。

【0015】そして、上記両支柱3の先端部分に、撮影の際の背景となるカーテン5が吊設され、上記筐体1、支柱3、カーテン5で囲まれた空間が、被写体2の撮影用ブースを形成し、上記筐体1が撮影用ブースの一部を構成するようになっている。上側の支柱3には、撮影用ブース内の被写体2を照射する2つのライト4が取り付けられている。

【0016】上記筐体1の内部には、撮影用ブース内の被写体2を撮影する第2カメラ6bが、取外し不能に設けられている。上記筐体1の第2カメラ6bの被写体2側に位置する面には、透明板10が嵌め込まれている。また、上記筐体1の内部には、上記第2カメラ6bから画像データを受信して画像合成等の処理を行なうコンピ

4

ュータ装置7が設けられている。また、上記筐体1の被写体2側には、上記コンピュータ装置7から送信された合成画像等の画像信号を受信して画像を表示するディスプレイ8が設けられている。

【0017】さらに、上記筐体1の前面には、手持撮影が可能な第1カメラ6aを接続するコネクタ13が設けられ、上記第1カメラ6aに記憶された画像データを上記コネクタ13を介してコンピュータ装置7に取り込むようになっている。上記第1カメラ6aは、コネクタ13から外して持ち出し可能であり、街頭等の好きな場所で持ち歩きながら撮影できるようになっている。

【0018】また、上記コンピュータ装置7では、第1カメラ6aで撮影された第1撮影画像(A)と第2カメラ6bで撮影された第2撮影画像(B)とを合成して合成画像(AB)を形成し、ディスプレイ8に表示するようになっている。

【0019】さらに、上記筐体1の内部には、コンピュータ装置7から送信された画像データを受信し、この画像を印刷媒体15に印刷するプリンタ9が設けられている。このプリンタ9で印刷された印刷媒体15は、筐体1の前面に形成された送出口19から送出されるようになっている。

【0020】さらに、上記筐体1の前面には操作パネルが設けられ、この操作パネルにコントローラ11が設けられている。上記コントローラ11は、タッチペン12を備えており、使用者2がディスプレイ8に表示される操作指示に従ってディスプレイ8の表面をタッチペン12でタップ(軽く叩く)等することにより、各種の操作信号がコンピュータ装置7に送られ、シャッター操作やモードの選択等の各種操作が行なわれるようになっている。

【0021】また、上記タッチペン12は、その先端をディスプレイ8の表面に接触させて文字や図形等を描いて入力しようになっており、手書き入力された文字・図形等の画像データやスタンプ画像等(C)が、第1カメラ6aで撮影された第1撮影画像(A)や第2カメラ6bで撮影された第2撮影画像(B)または第1撮影画像と第2撮影画像の合成画像(AB)と合成されてディスプレイ8に表示され、印刷媒体15に印刷されるようになっている。

【0022】また、上記タッチペン12は、ディスプレイ8に表示される指示に従って、使用者2が操作することによりアンケートを入力しようになっており、入力されたアンケートの結果を外部に送信しようになっている。

【0023】また、筐体1の前面には、対価としてのコインを投入するコイン投入口(図示せず)が設けられ、筐体1内部のコイン投入口に隣接した位置に、投入されたコインを検出してコンピュータ装置7に検出信号を送信するコイン検出部17(図2参照)が設けられてい

10

20

30

40

50

5

る。また、筐体1前面の適所には、コンピュータ装置7から音声信号を受信して出力するスピーカ（図示せず）が設けられている。

【0024】つぎに、上記コンピュータ装置7のシステム構成について詳しく説明する。

【0025】図2に示すように、上記コンピュータ装置7は、タッチペン12によりディスプレイ8の入力部35に入力された各種の操作信号をコントローラ11を介して受信し、受信した操作信号に応じて各種制御を行なう制御手段31を備えている。上記制御手段31は、コイン検出部17からの検出信号を受信することにより、撮影や画像合成等の制御を開始するようになっている。

【0026】上記ディスプレイ8には、タッチペン12によって手書き画像や操作信号が入力される入力部35と、画像等を表示する表示部36とが設けられている。上記タッチペン12で入力された手書き画像等は、ペン入力画像記憶部32に記憶され、記憶された手書き画像等のデータは、後述する画像合成手段30に送られる。また、タッチペン12によって入力された操作信号は、コントローラ11を介して制御手段31に送られ、各種の制御が行なわれる。

【0027】上記コンピュータ装置7には、タッチペン12によるペン入力画像の入力可能時間を計測するタイマ26が設けられている。上記タイマ26は、制御手段31による手書き入力開始の指示メッセージをディスプレイ8に表示させるのとほぼ同時に計測を開始する。上記タイマ26の計測時間があらかじめ設定された所定の入力可能時間（例えば90秒等）に達したときに手書き画像等の入力を停止してつぎの動作に移るようになっている。

【0028】また、上記コンピュータ装置7には固定画像記憶部38が設けられ、上記被写体2によるタッチペン12の操作により所望のシャッタタイミングで静止画像として固定された第2カメラによる第2撮影画像や、コネクタ13を介して第1カメラ6aから入力された第1撮影画像を記憶するようになっている。

【0029】また、上記コンピュータ装置7には、シャッター操作による第2カメラ6bでの撮影回数をカウントするカウンタ25が設けられている。上記カウンタ25は、コイン検出部17による最初のコインの検出によってリセットされてカウントを開始する。上記カウンタ25のカウントがあらかじめ設定された所定の撮影可能回数（例えば4回等）に達するまで撮影を繰り返し、複数の撮影画像（静止画像）を得るようになっている。

【0030】上記第2撮影画像（静止画像）は、ディスプレイ8の表示部36に表示されて使用者2に対してプレビュー確認させるようになっている。そして、ディスプレイ8には、プレビューを確認させた静止画像について撮りなおしを希望するか否かの選択を促す画面を表示し、使用者2が撮りなおしを希望する場合は、タッチペ

6

ン12でキャンセル操作を行なって再度シャッター操作を行なうようになっている。

【0031】また、コネクタ13を介して第1カメラ6aから取り込まれた第1撮影画像も、ディスプレイ8の表示部36に表示されて使用者2に対してプレビュー確認させるようになっている。そして、ディスプレイ8には、プレビューを確認させた複数の第1撮影画像について、どの画像を出力するかを選択を促す画面を表示し、タッチペン12の操作により所望の画像を選択しうようになっている。

【0032】さらに、上記コンピュータ装置7には画像合成手段30が設けられ、第1カメラ6aで撮影された第1撮影画像（A）と第2カメラ6bで撮影された第2撮影画像（B）とを合成して合成画像（AB）を生成するようになっている。

【0033】また、上記画像合成手段30は、第1撮影画像（A）や第2撮影画像（B）あるいは両者の合成画像（AB）に、タッチペン12によってディスプレイ8の入力部35に入力され、ペン入力画像記憶部32に記憶された文字や図形等の手書き画像等（C）を合成するようになっている。上記画像合成手段30で合成された合成画像（AC、BC、ABC）は、ディスプレイ8の表示部36に表示されるようになっている。

【0034】また、上記コンピュータ装置7には、送受信手段39が設けられている。上記送受信手段39は、例えばインターネット等の通信回線（NET）に接続され、撮影画像や合成画像、アンケートの回答等を上記通信回線を介して外部に出力し、外部のサーバに格納したり端末装置等に出力して表示したり印刷したりできるようになっている。

【0035】さらに、上記コンピュータ装置7は、プリンタ9による印刷を制御する印刷制御部34を備えている。上記印刷制御部34は、所定のシートレイアウトにより印刷媒体15に合成画像（AC、BC、ABC）等を印刷するよう制御する。

【0036】上記写真自販機の動作の一例について、図3のフローチャートを参照しながら説明する。ここで、図3において、「S」はステップを意味する。

【0037】まず、あらかじめ筐体1のコネクタ13から第1カメラ6aを取り外すか、あるいは、店舗のサービスカウンター等において第1カメラ6aの貸出を受け、第1カメラ6aを街頭や自宅等の好みの場所に持ち出して撮影を行なう。このときの被写体としては、使用者2自身を街頭等で撮影してもよいし、街の風景やオブジェ等を被写体を選んでよい。また、撮影する第1撮影画像の数としては、1枚でもよいし複数枚でもよい。このとき撮影された第1撮影画像の画像データは、第1カメラ6a内のメモリに記憶される。

【0038】そして、ディスプレイ8にデモ画面が表示されているなか、使用者2がコイン投入口に必要のコイ

ンを投入すると(S120)、ディスプレイ8に第1カメラ6aをコネクタ13に接続するよう指示するメッセージ画面が表示される。このメッセージに従って第1カメラ6aをコネクタ13に接続すると(S122)、第1カメラ6a内のメモリに記憶された第1撮影画像の画像データが、コンピュータ装置7に取り込まれ、固定画像記憶部38に記憶される(S126)。

【0039】第1撮影画像の取り込みが終了すると、取り込まれた第1撮影画像がディスプレイ8に表示されるとともに、使用者2にプリント出力する画像の選択を促すメッセージ画面が表示される(S130)。ここで、使用者2が、タッチペン12の先端でディスプレイ8に表示された画像をタップする操作により、プリント出力を希望する第1撮影画像の選択を行うと、ステップ135に進む。

【0040】ステップ135では、第2カメラ6bによる撮影を行なうか否かの決定を促すメッセージ画面が表示される。ステップ135において、第2カメラ6bでの撮影を行なわないモードを選択した場合は、ステップ240に進んで手書き画像等の入力開始され、第1カメラ6aによる第1撮影画像と手書き画像等との合成が行なわれる。

【0041】一方、ステップ135において、第2カメラ6bでの撮影を行なうモードを選択した場合は、第2カメラ6bによる被写体2の撮像が開始される(S140)。撮像の開始により、ディスプレイ8の表示部36に撮像映像が動画としてリアルタイムで表示される。

【0042】つぎに、使用者2がディスプレイ8の表示画像を見ながら被写体2の位置調整を完了した後に、タッチペン12を用いて画面の指示に従ってシャッタ操作の操作信号を入力すると(S160)、使用者2にポーズをとるよう指示し、それから所定時間のカウントダウン後に、所定の瞬間の撮像映像が固定画像記憶部38に固定される(S180)。このとき、ディスプレイ8には、そのときの撮影画像が静止画像として表示される。

【0043】そして、固定された静止画像をディスプレイ8の表示部36に表示して使用者2に対してプレビュー確認させ、ディスプレイ8にはプレビューを確認させた静止画像について撮りなおしを希望するか否かの選択を促すメッセージを表示する(S200)。

【0044】ステップ200において、使用者2が撮りなおしを希望する場合は、タッチペン12でキャンセル操作を行なってステップ160に戻り、再度、第2カメラ6bによる撮像とシャッタ操作とを行なう。ステップ200において、撮りなおしを行なわない場合は、カウンタ25の撮影回数が規定の撮影可能回数に達しているか否かが確認される(S220)。

【0045】ステップ220において、規定の撮影可能回数に達していなければ、ステップ160に戻り、再度、第2カメラ6bによる撮像とシャッタ操作とを行な

う。一方、ステップ220において、規定の撮影可能回数に達していれば、ステップ225に進む。

【0046】ステップ225では、第1カメラ6aでの第1撮影画像(A)と第2カメラ6bでの第2撮影画像(B)とを合成するか否かの決定を促すメッセージ画面が表示される。ステップ225において、画像合成を行なわないモードを選択した場合は、ステップ240に進んで手書き画像の入力開始され、第1カメラ6aによる第1撮影画像(A)と第2カメラ6bによる第2撮影画像(B)とのそれぞれと手書き画像との合成が行なわれる。なお、このとき手書き画像と合成するのを第1撮影画像(A)と第2撮影画像(B)のいずれか一方としてもよい。

【0047】ステップ225において、画像合成を行なうモードを選択した場合は、第1撮影画像(A)と第2撮影画像(B)の合成が行なわれる(S230)。ここで、画像合成画面の一例を図4に示す。この画像合成画面において、22a、22bはそれぞれ第1撮影画像(A)と第2撮影画像(B)であり、23は第1撮影画像(A)と第2撮影画像(B)との合成画像(AB)である。上記合成画像(AB)23内には、第1撮影画像(A)22aおよび第2撮影画像(B)22bが表示され、タッチペン12の先端を画面に接触させたまま移動させることにより、第1撮影画像(A)22aと第2撮影画像(B)22bの位置調節を行ないうようになっている。

【0048】第1撮影画像(A)22aと第2撮影画像(B)22bとの画像合成が終了すると、タッチペン12を操作することによる手書き画像等の入力開始される(S240)。

【0049】ここで、手書き画像の入力画面の一例を図5に示す。この手書き画像入力画面において、21a、21b、21cは、それぞれ手書きペン、スタンプ画像、アルファベット文字を入力する際にタッチペン12でタップするアイコンである。

【0050】手書き画像を入力する際には、手書きペンのアイコン21aをタッチペン12の先端でタップしてから、タッチペン12の先端を、表示された合成画像(AB)23の上に接触させて絵や文字を描くことにより、手書き画像の入力が行なわれる。

【0051】スタンプ画像を入力する際には、スタンプ画像のアイコン21bをタッチペン12の先端でタップしてから、タッチペン12の先端を、表示された合成画像(AB)23の上に接触させることにより、スタンプ画像の入力が行なわれる。

【0052】アルファベット文字を入力する際には、アルファベット文字のアイコン21cをタッチペン12の先端でタップしてから、タッチペン12の先端を、表示された合成画像(AB)23の上に接触させることにより、アルファベット文字の入力が行なわれる。

【0053】このようにして、図6に示すように、手書き画像27やスタンプ画像28等(C)が入力され、表示された合成画像(AB)23の上にさらに合成されて手書き画像等との合成画像(ABC)が生成される。

【0054】そして、上記手書き画像等の入力、タイム26の計測時間があらかじめ設定された所定の入力可能時間(例えば90秒等)に達するまで続けられる(S260)。ステップ260において規定の入力可能時間に達すると、手書き画像等の入力が停止され、印刷の際のシートレイアウトの選択が行なわれる(S280)。ここでのシートレイアウトの選択は、ディスプレイ8の表示部36にシートレイアウトの見本画面が表示され、タッチペン12の操作により所望のシートレイアウトを選択することが行なわれる。

【0055】ついで、シートレイアウトの選択が終了すると、合成画像の画像データがプリンタ9に送られ、ステップ280で選択されたシートレイアウトにより印刷が開始される(S300)。印刷が終了すると、印刷された印刷媒体15(写真プリント)が出力される。

【0056】ここで、シートレイアウトの一例を図7に示す。この例では、写真プリントとしてシールプリントに出力した例を示しており、41はシール台紙、42はシールである。

【0057】このように、上記写真自販機によれば、第1カメラ6aを持ち歩いて撮影を行い、上記第1カメラ6aをコネクタに接続し、第1カメラ6aに記憶された画像データをコネクタ13を介して取り込んでプリンタ9で出力することができるため、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した画像を写真プリントとして出力できるようになる。また、上記コネクタ13に接続される第1カメラ6aを備えているため、あらかじめ備えつけの第1カメラ6aを好きな場所に持ち出して撮影を行なえる。さらに、顧客が自分で所有する第1カメラ6aをコネクタ13に接続することにより、個人持ちの第1カメラ6aで撮影した画像を出力することもできる。

【0058】なお、上記写真自販機では、合成画像を印刷するかわりに、送受信手段39により通信回線を介して外部に出力し、外部のサーバに格納したり端末装置等に出力して表示したり、あるいは外部で印刷したりすることもできる。

【0059】また、上記実施の形態において、プリンタ9としては、昇華型プリンタ、インクジェットプリンタ、レーザプリンタ、熱転写型プリンタ、溶解型プリンタ、サーマルプリンタ、印画紙プリンタ、インスタントフィルムプリンタ等、各種のタイプのプリンタを適用することができ、特に限定するものではない。

【0060】また、上記実施の形態では、出力する写真プリントがシールプリントである例を示したが、これに限定するものではなく、カード等として出力するものも含む趣旨であり、印刷媒体15の材質や構成を限定する

趣旨ではない。

【0061】また、上記実施の形態では、コインの投入により撮影を開始するようにしたが、これに限定するものではなく、紙幣、プリペイドカード、メダル、クレジットカード、キャッシュカード等、撮影の対価として支払いうるものであれば、各種の態様を含む趣旨である。また、これらは、単独で用いる場合だけでなく、組み合わせて用いる場合も含む趣旨である。

【0062】また、上記実施の形態では、第1および第2カメラ6a、6bでの撮像映像やそれらの合成画像とペン入力画像等とを合成するようにしたが、これに限定するものではなく、これらの画像に、さらに前景や背景等になるフレーム画像等を合成するようにしてもよい。

【0063】また、上記実施の形態において、第1および第2カメラ6a、6bとしては、デジタルカメラを用いることもできるし、ビデオカメラを用いることもでき、撮影画像を電気信号に変換しうるものであれば特に限定するものではなく、各種のものをを用いることができる。さらに、上記実施の形態では、2台のカメラ6a、6bを備えた例を示したが、これに限定するものではなく、第1カメラ6aだけでもよいし、3台以上のカメラを備えるようにしても差し支えない。

【0064】また、上記実施の形態では、スタンプ画像は、スタンプ画像格納部(図示せず)に格納されたものをを用いるようにしたが、これに限定するものではなく、フロッピディスク、CD-ROM、CD-R、光磁気ディスク等の各種の記憶媒体に記憶された画像データを読取って使用するようにすることもできる。

【0065】また、上記実施の形態において、外部端末としては、例えば、携帯電話、コンピュータ装置、ファクシミリ装置、携帯情報端末等を用いることができる。これらの外部端末は普及率が高く、容易かつ安価にデータの送受信を行うことができる。また、上記外部端末として携帯電話を用いる場合、800MHzアナログ方式、800MHzデジタル方式、1.5GHzデジタル方式の各種携帯電話や、簡易型携帯電話(PHS)等を用いることができるが、携帯して移動可能な電話であれば、各種のものをを用いることができる。

【0066】また、上記実施の形態では、インターネットを介してデータを送受信する例を示したが、インターネット以外の通信回線として、例えば、アナログ電話回線、高速デジタル回線(ISDN回線)、無線、光ファイバ、携帯電話回線(例えば、DoPa等)、ZAQ、PHS回線(例えば、PIAFS、αDATA32等)、総合知的通信網(UICN)、新高度情報通信(VI&P)、衛星通信回線、有線放送、各種通信ケーブルによるデータ通信やデータ転送等があげられるが、これら以外の各種のものを用いることができる。また、接続は、常時接続であると、そのつどダイヤルアップして接続するものであるとを問わない。

【0067】

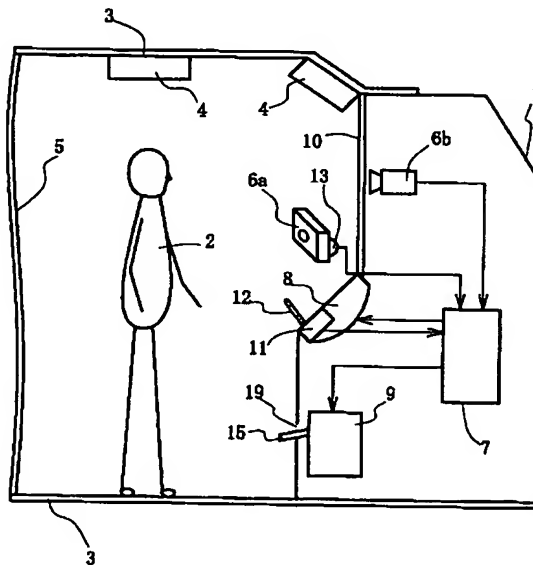
【発明の効果】以上のように、本発明の写真自販機によれば、第1撮影手段を持ち歩いて撮影を行い、上記第1撮影手段をコネクタに接続し、第1撮影手段に記憶された画像データをコネクタを介して入力して画像出力手段で出力することができる。このように、街頭の風景や自宅等の好きな場所で撮影した画像を出力できるようになる。また、顧客が自分で所有する第1撮影手段をコネクタに接続することにより、個人持ちの第1撮影手段で撮影した画像を出力することもできる。

【図面の簡単な説明】

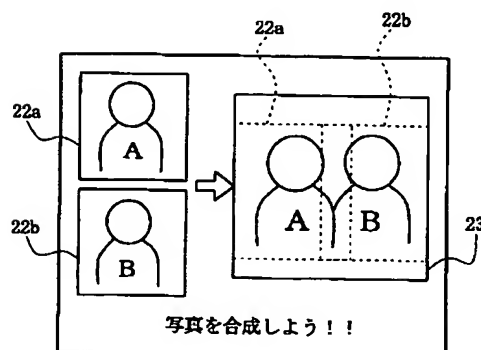
【図1】本発明の写真自販機の一実施の形態を示す断面図である。

【図2】コンピュータ装置のシステム構成図である。

【図1】



【図4】



【図3】上記写真自販機の動作の一例を説明するフローチャート図である。

【図4】撮影画像の合成画面の一例を示す図である。

【図5】手書き画像の入力画面の一例を示す図である。

【図6】手書き画像の入力状態の一例を示す図である。

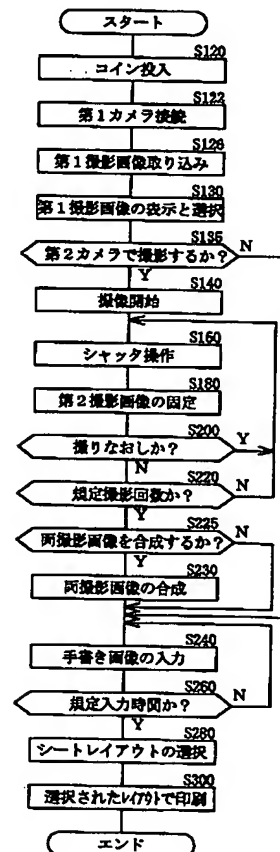
【図7】合成画像をシールプリントに出力した状態の一例を示す図である。

【図8】従来例を示す断面図である。

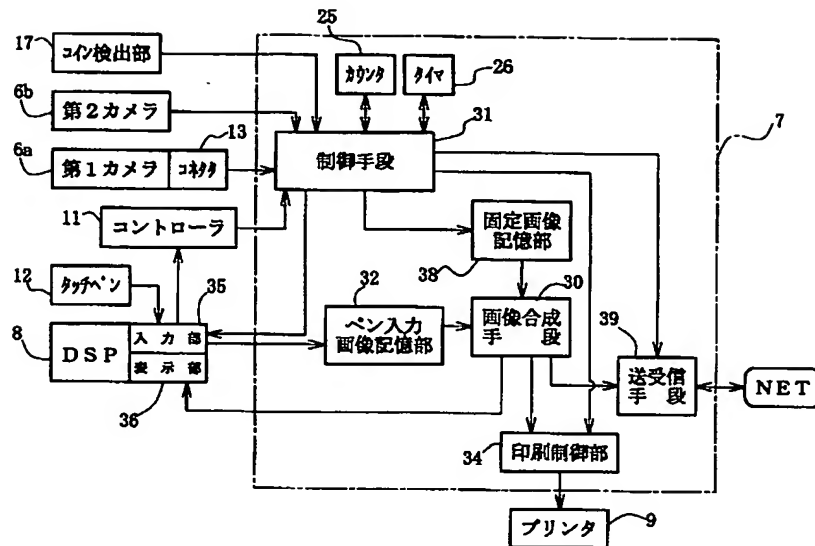
【符号の説明】

- 10 2 被写体
6a 第1カメラ
9 プリンタ
13 コネクタ

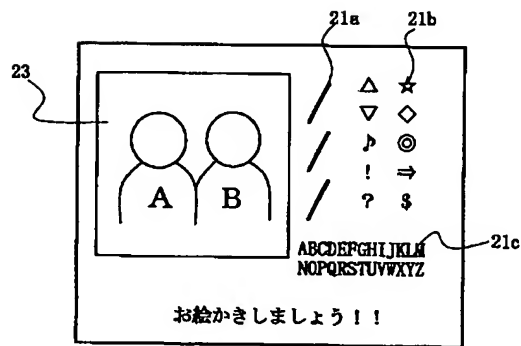
【図3】



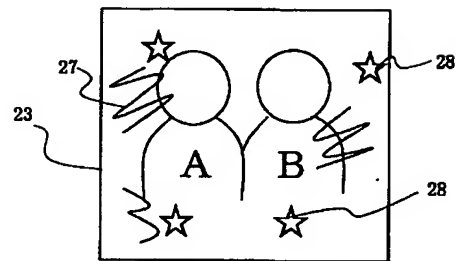
【図2】



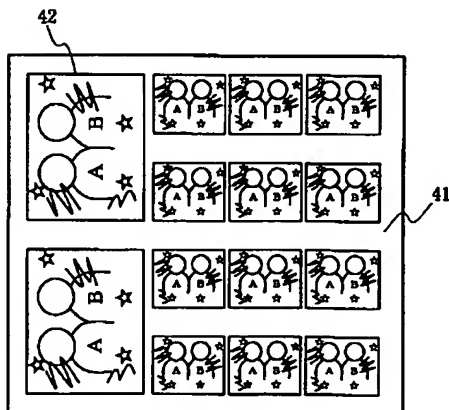
【図5】



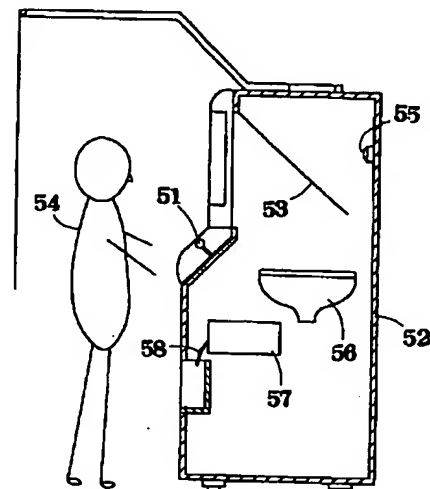
【図6】



【図7】



【図8】



(9)

特開2002-208065

フロントページの続き

(51)Int. Cl. 7

識別記号

F I

テームト(参考)

H 0 4 N 7/18

H 0 4 N 7/18

U

Fターム(参考) 2H054 AA01

2H104 BC48

5C052 FA02 FA03 FC01 FC06

5C054 AA01 CA04 CC02 EA01 EA07

GA05 GB01 HA00

5C076 AA14 AA15 AA16 AA19 BA01

BA02 BA05 BA06 CA02